

令和 6 年度 第 2 回 長浜市下水道事業審議会 会議録

日 時：令和 7 年 2 月 12 日(水) 14 時 00 分から 15 時 30 分まで

会 場：長浜市役所 5 階 5-A 会議室

出席者：委員 7 名

横山幸司会長、山内芳博副会長、中井宣夫委員、前田喜代次委員、筑田利美委員、
服部貴美代委員、瀧本登茂子委員

事務局

服部下水道事業局長、今莊都市建設部管理監

下水道総務課

長谷川課長代理、辻村副参事、横田係長、禿主査、道念主査

下水道施設課

浅井課長代理、西尾課長代理、岩佐副参事、藤田主幹

進行：服部下水道事業局長

1. 開会(省略)

2. 局長あいさつ(省略)

3. 会長、副会長の選出

事務局一任との声があり、事務局案どおり横山委員が会長に、山内委員が副会長に選出された。

4. 会議の公開について

法令等の規定が存在せず、その他非公開とする正当な理由もないことから、公開とする。

5. 議事

(1)長浜市下水道事業経営計画(経営戦略)の策定について【資料 3】

事務局から「長浜市下水道事業経営計画(経営戦略) 素案」に基づき説明

説明の後、次のような質疑がありました。

委員	公共下水道の経費回収率が下がっていく理由が、流域下水道の負担金の値上げということだが、どのような上げ幅になるのか可能であれば教えてほしい。
事務局	物価高騰等により上がると聞いているが、はっきりとした数値は確定していない。だいたい 16～18%ぐらいの上げ幅になると見込んでいる。
委員	棒グラフの総%が 100%になっていない箇所があるため、100%に統一してはどうか。
事務局	端数処理の関係でズレてしまったと思われるため修正する。
委員	適正な使用料の検討を通じて安定した収入を目指すということだが、これは公共下水道事業と農業集落排水事業を併せて考えるということでしょうか。
事務局	公共下水道事業と農業集落排水事業は同一料金とする考えでいる。

(2)長浜市下水道事業 BCP 計画の改定について【資料 4】

「長浜市下水道事業業務継続計画(下水道 BCP)の改定について」に基づき説明

説明の後、次のような質疑がありました。

委員	水害の発生時点は何をもって把握するのか。
事務局	県の防災放送や防災危機管理課等の他部署と連絡を取り対応する。
委員	水害の初期段階で、使用者への使用制限を行うべきではないか。
事務局	使用制限は最終手段と捉えている。現地確認の後に必要となった際は、迅速に告知できるよう体制を整えていく。

6. その他

「埼玉県道路陥没事故を踏まえた本市の現状」及び「長浜市下水道事業経営計画（経営戦略）の今後の進め方」について、事務局より説明。

説明の後、次のような質疑がありました。

委員	埼玉県の道路陥没事故のような事態が起きる可能性のある箇所は、市内に無いという認識でよいのか。
事務局	今まで点検している箇所ですといった可能性のある箇所は見受けられない。
委員	流域下水道の管路の状態は把握しているのか。
事務局	滋賀県の流域下水道管は国の調査基準に入っていないが、県が自主的に2m を超える管について点検を行っている。この近辺だと彦根に入る場所がそれに該当するが、今のところは大きな問題は無いと聞いている。

7. 閉会(省略)